

平成 27 年度の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

平成 27 年度の販売電力量は、東日本大震災からの復興の動きなどが続いているものの、前年に比べ春先や冬場の気温が高く夏場後半の気温が低めに推移したことによる冷暖房需要の減少や節電への取り組みに加え、大口電力における一部での生産設備の稼動減などから、750 億 5,700 万 kWh、前年度比 98.0%の実績となりました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

なお、ご参考として平成 22 年度との比較も表 - 1 に掲載しております。

○ 特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、東日本大震災からの復興の動きなどが続いているものの、前年に比べ春先や冬場の気温が高く夏場後半の気温が低めに推移したことによる冷暖房需要の減少や節電への取り組みなどから、前年度比 97.7%の実績となりました。特定規模需要以外の需要の合計では、前年度比 97.3%の実績となりました。

○ 特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、需要回復の動きが続いているものの、前年に比べ春先や冬場の気温が高く夏場後半の気温が低めに推移したことによる冷暖房需要の減少などから、前年度比 97.5%の実績となりました。

特定規模需要の合計では、前年度比 98.3%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、復興需要や一部での前年における定期修理影響があるものの、一部での生産減少などから、前年度比 98.7%の実績となりました。

２．供給力について（表 - ２ 参照）

平成 27 年度の発受電電力量の合計は、822 億 900 万 kWh、前年度比 98.1%の実績となり、2 年連続で前年度実績を下回りました。

なお、ご参考として平成 22 年度との比較も表 - 2 に掲載しております。

（自社水力）

出水率 98.7%となり、前年出水率 103.3%を 4.6%下回ったことにより、発電量は前年度を 3 億 1,400 万 kWh 下回る 79 億 2,100 万 kWh となりました。

（自社火力）

水力や他社受電の減少などにより、発電量は前年度を 6 億 1,300 万 kWh 上回る 572 億 1,200 万 kWh となりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所 1 号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の補修差や蒸気量減少などにより、発電量は前年度を 700 万 kWh 下回る 9 億 3,100 万 kWh となりました。

（他社受電）

他社発電所の運転状況の違いなどにより、他社受電合計では前年度を 15 億 4,900 万 kWh 下回る 232 億 8,200 万 kWh となりました。

以 上